(桜川市行政評価システム) 記入年月日 令和 4年度 事務事業評価表 ( 令和 3年度 の実績評価) 月 21 事業区分 事務事業名 第9支部狂犬病予防対策協議会参画事業 新規/継続 継続 事務事業No. 050803000242 政策体系上の位置付け 単独/補助 単独 030301 所属課 総合計画の施策名 0508 生活環境の保全 生活環境課 05 快適な暮らしのまちづくり 政策名 課長名 環境公害対策G 施策名 08 生活環境の保全 グルー 系 手段名 03 ③公害防止活動の推進 担当者名 財務会計上の位置付け 丵 誀 款 事業 一般会計 単年度繰返し 年度~) 細 予算科目 環境衛生事業 01 04 01 03 02 00 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 法令根拠 事務事業の現状把握(その1)  $(D_0)$ (1) 事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 狂犬病予防集合注射に関する協議参画、研修会・動物愛護ファスティバ 第9支部狂犬病予防対策協議会(筑西市・結城市・常総市・桜川市・下妻市・ 八千代町・第9支部獣医師会)の運営により、狂犬病予防注射接種率向上を図るための協議会。チラシ作成、啓発物品作成、看板作成など予防注射の促進、 ル(交互年1回)の実施、負担金事務 研修会の実施、動物愛護フェスティバル開催などを行う。事務局は第9支部獣 医師会会長の市町村で行う。現在は常総市が事務局である。 手 段 指標値の推移 (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、 02年度 03年度 04年度 05年度 06年度 ①手段 (担当者の活動内容) (活動量を表す指標) 単位 4)活動指標 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 予防注射日程表作成 枚 2,231.00 13.000.00 | 13.000.00 13,000.00 13,000.00 会議への出席 4.00 4.00 4.00 400 4.00 狂犬病予防集合注射の運営に関する事務及 び関係獣医師との連携。 0.000.00 0.000.000.000.00 0.00 0.00 0.00 0.00 02年度 03年度 05年度 06年度 04年度 (誰、何を対象にしているのか) 単位 ②対象 ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 登録犬数 丽 2,452.00 2,363.00 2,300,00 2,300.00 2,300.00 市民及び愛犬家 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.000.000.000.000.0002年度 04年度 05年度 0.3年度 06年度 (この事業によって対象をどう変え (対象における意図の達成度 ③意図 ⑥成果指標 単位 を表す指標) るのか) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 2,250.00 2,250.00 配布件数 件 2.231.00 2.200.00 13,000,00 適正な飼育、飼主のモラルの向上 狂犬病予防注射の接種頭数 頭 1,153,00 1,500.00 1,500.00 1,500.00 1,400.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 02年度 O4年度 05年度 06年度 03年度 期間限定 投入量(事業費)の推移 (3)(実績) (計画) (目標) (目標) 総投入量 国庫支出金 0 千円  $\cap$  $\cap$ 県支出金 千円  $\circ$ 0 事 源 地方債 千円  $\cap$  $\cap$  $\overline{C}$ 投 使用料・手数料 千円 0 O 費 訳 その他 千円 0 0 0 宇宙 -般財源 29 28 23 事業費計(A) 千円 29 28 23 2.00人 2.00人 正規職員従事人数 2.00人 量

28

18 負担金補助及び交付金

O4年度事業費 予算(千円)

合

計

23

03年度事業費 実績(千円)

合

計

18 負担金補助及び交付金

費の内訳

				(桜川市行政評価システム)	
	支部狂犬病予防対策協議会参画事業		50803000242	所属課 生活環境課	
	きっかけは、いつ頃どんな経緯で		いは5年前と比べてどう	変わったのか?	
	効率的な作業のため獣医師会と市田 		5*848 ₩ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?					
特になし					
【See】 2. 評価の部	*原則は事前評価。				
評価項目 					
革は話びついている	狂犬病予防注射は獣医師しか行えず、参画し連携が図られているため、結びついている。				
善② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)					
行う。妥当である	行				
③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)					
向上余地がない	例年通り事業を実施しており、成果の向上はない。				
④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)					
有 効 影響有 性 により行っているため廃止休止はない。					
⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)   具体的な手段、事務事業名   蓄犬登録事業 狂犬病予防事業					
連携ができる	狂犬病予防法に基づいて実施している。				
⑥事業費・人件費の削除余地(成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)   効					
車性 <u>削減余地がない</u> 負担金は狂犬病予防注射実施頭数により算出しているため、削減はできない。					
☆ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)					
関係市町村でチラシ、飼養モラル啓発のための看板等を作成し、周知しているため公平である。					
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)					
(1) 1次評価者としての評		(2) 全体総括(振り返り		こしたが動物フェフニッパリけのよし	
①目的妥当性 ■ 適切 ②有効性 □ 適切 ③効率性 ■ 適切 ④公平性 ■ 適切	<ul><li>見直し余地あり</li><li>見直し余地あり</li><li>見直し余地あり</li><li>見直し余地あり</li><li>見直し余地あり</li></ul>	コロアフィルス感染症対象をた。	始まえ、集ロ注別は夫成	近したが動物フェスティバルは中止し	
(3) 今後の事業の方向性					
□終了 ■ 継続	■ 改革改善を行う	(複数回答可) □ 目的の再設定 □ ■ 有効性の改善 □	効率性の改善 公平性の改善	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	
□ 廃止 □ 休止	□ 現状維持	□ 統廃合ができる ■	連携ができる		
		ATING MA			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 集合注射での接種数が減少しているが、会場数は現状維持とする。会場の回る順番を見直し、サービス向上に繋げる。 成 維 果 持					
				(6)事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 (9)	
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項					
(1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)					
課長確認後の評価					
A: 継続(現状維持)					